



なっています。介護老人福祉施設では減少傾向ですが、他の施設では介護サービスの受給者数、費用ともに増加しています。

また、介護サービスを利用したくても事業者がどこにあるのかわからないかたのために、市内の介護サービス事業者一覧を作成し全世界帯に配布しています。

六十五歳以上のかたの介護保険料の徴収が、十月一日から開始されました。介護保険料の額と徴収開始については、広報大館で市民の皆さんにお知らせしてきたところですが、普通徴収の十月三十一日までの収納額は、第一期分の予定額を大幅に上回るものとなって

います。

介護保険に関する相談窓口として、四月から介護一〇番を福祉事務所内に設置しています。さらに十月からは保険料の徴収が開始されたことから税務課にも保険料相談窓口を設置して対応しています。今後とも市民のかたが介護保険制度によりなじまれるよう努力していきます。

秋田県種苗交換会

来年は大館で開催

今年の農作物の作柄状況は、比較的恵まれた気象状況が続いたため、生育が全体的に良好に推移しました。

野菜・果樹は、一部を除き病害虫の発生も少なく、平年並みの収量を確保しています。全国でも有数の生産量を誇る山の芋は、高温干ばつ気味の影響からやや小玉傾向でしたが、全国的に品薄状態でしたので比較的安定した価格で取り引きされています。また、ネギについては、全国的な豊作と外国産の輸入により、価格面で苦戦を強いられています。

基幹作物である水稲は、作況指数一〇二と「やや良」を維持しました。心配されたカメムシ被害も最小限に抑えることができ、一等



米比率も昨年を一四ポイントほど上回る七一パーセントを確保しています。

次に、米の生産調整についてですが、農家に対し一律三二・五パーセントの転作率でお願いしたところ、転作達成率が一〇一・一パーセントとなりました。目標達成にご協力いただきました関係農家にご心から感謝申し上げます。また、来年度の生産調整についても、米の需給と稲作経営の安定を図るために目標達成は不可欠と考えますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、秋田県農業の最大イベント「秋田県種苗交換会」の来年の開催地が、大館市に決まりました。戦時中も途絶えることなく百二十四回を数えるもので、本市では十八年ぶりの開催となります。来年は「市制施行五〇周年」の記念の年に当たりますので、全市をあげて歓迎ムードを盛り上げ、成功に導きたいと思っております。

今年も盛況でした 大館圏域産業祭

十月二十八日、二十九日の両日に開催しました第四回大館圏域産業祭は、比内、田代、小坂の三町を含めた地域の行事として定着し、約四万六千人の来場者で大変なにぎわいとなりました。

商工展、農業展、菊花展、圏域交流展、フリーマーケットなど多種多彩な展示が行われたほか、ステージイベントでは民謡ショーなどのほか大館能代空港利用促進PRとしてウルトラクイズが開催され大勢の観客を集めました。

来年は同時期に秋田県種苗交換会が本市において開催されることから、本産業祭の開催を見送る方向で検討中です。

そのほかの行政報告

- ▽大館能代空港圏域「首都圏観光懇談会」
- ▽環境美化推進事業の実施状況
- ▽秋のまつり行事
- ▽首都圏大館ふるさと会総会
- ▽大館市生涯学習フェスティバル
- ▽大館市模範女性会議
- ▽市立総合病院本館棟の耐震診断結果
- ▽公共事業の進展状況